

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	コーチング・イノベーション推進事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	スポーツ振興課 森岡 裕策	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・未定		担当課室	スポーツ振興課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	スポーツの振興 XI-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第7条、第21条、第25条		関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	スポーツ指導者が必要な知識・技能を育成過程において確実に習得するよう「モデル・コア・カリキュラム」を作成するとともに、競技者を支える多様な主体(アスリート・アントラー・ジュ)が連携した指導現場のオープン化、指導者や資格制度の評価方法の検討等の取組を総合的に推進することにより、我が国におけるスポーツ指導(コーチング)の改善・充実を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①「コーチング推進コンソーシアム」(仮称)の開催 スポーツ関係機関が一同に会し、コーチングにおける課題の共有及び改善充実のための連携した取組を推進する協議会を設置・開催する。 ②コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の作成 コーチが体育系大学等の育成過程において確実に習得するべき知識・技能を明らかにし、「モデル・コア・カリキュラム」を作成する。 ③「アスリート・アントラー・ジュ」の連携協力推進 競技者・チームを支えるコーチ、家族、マネージャー等の様々な関係者・関係団体(アスリート・アントラー・ジュ)が連携してコーチングを改善するための研修会の開催、アスリート・アントラー・ジュの交流促進等を実施する。 ④コーチの質保証のための評価システムの開発 スポーツ指導者資格制度の評価及び資格取得後のコーチの活用のための評価に関する指標やフィードバックの仕組み等のシステムを開発し、実証研究を実施する。 ⑤新しい時代にふさわしいコーチングの意識啓発 シンポジウムの開催、リーフレットの作成配布、ウェブサイトの運営等を通じ、新しい時代にふさわしいコーチングの基本理念や本事業の成果を全国に普及・啓発する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	101.5
		補正予算						
		繰越し等						
		計						101.5
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は我が国のコーチング・コーチの質の向上・保証のため、関係機関による連携した取組を推進し、スポーツの健全性の維持・向上を図ることを目指すものであり、定量的な指標はなじまない。		成果実績					-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込 ※26年度の活動見込みである
	本事業は、調査研究を行うもので、その活動実績を数値で表すことができない。		活動実績(当初見込み)	-				-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	1百万円					
	職員旅費	-	0.9百万円					
	委員等旅費	-	0.78百万円					
	庁費	-	0.22百万円					
	スポーツ振興事業委託費	-	98.5百万円					
	計	-	101.5百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。				

事業所管部局による点検															
	項目		評価	評価に関する説明											
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本年7月に公表された「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)報告書」の提言に基づき、新しい時代にふさわしいコーチング及びコーチの確立に向けて、国を挙げてコーチング・コーチの質の向上・保証のための取組を推進する必要がある。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—												
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で、公募(企画競争等)を行い、その妥当性や競争性を確保する。また、費目・使途については、事業を適切に実施するに当たり、必要なものに限定している。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—												
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○												
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—													
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	我が国のコーチング・コーチの質の向上・保証を実現し、スポーツの健全性の維持・向上を図るために必要な具体的方策を調査研究する事業である。											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—												
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名												
点検結果	<p>本事業は、本年7月に公表された「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)報告書」の提言に基づき、国を挙げてコーチング・コーチの質の向上・保証のための取組を総合的・一体的に推進するものである。</p> <p>広く国民のニーズに応じたコーチングを実現するための具体方策について調査研究を行い、その成果をシンポジウムの開催、リーフレットの作成配布、ウェブサイトの運営等を通じて普及・啓発することにより、地域への波及やスポーツの健全性の維持・向上を長期的に図っていくことが期待され、費用対効果の高い事業を26年度概算要求するものである。</p>														
外部有識者の所見															
外部有識者による点検対象外															
行政事業レビュー推進チームの所見															
本事業は、定性的な内容であるが成果目標が立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。															
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況															
備考															
スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)報告書 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/017/toushin/1337250.htm スポーツ基本法 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/ スポーツ基本計画 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/															
関連する過去のレビューシートの事業番号															
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-									

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文 部 科 学 省
101.5百万円

1. 「コーチング推進コンソーシアム」(仮称)の開催
スポーツ関係機関によるコーチングにおける課題
の共有及び改善・充実のための連携した取組を推進
する協議会を設置・開催する。

・諸謝金	1百万円
・職員旅費	0.9百万円
・委員等旅費	0.78百万円
・庁費	0.22百万円を含む

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと
合計は一致しない。

スポーツ指導者が必要な知識・技能を確実に習得できるカリ
キュラムの作成、競技者を支える多様な主体が連携した指導
現場のオープン化、指導者や資格制度の評価方法の検討等
の取組を総合的に推進することにより我が国におけるスポ
ーツの健全性の維持・向上を図る。



【公募・委託】

A. 民間団体(全5団体)
98.5百万円

2. コーチング・イノベーションの推進

①コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の作成

②「アスリート・アントラージュ」の連携協力推進

※アスリート・アントラージュとは、競技者・チームを支えるコーチ、家族、マネージャー等の様々な関係者・関係
団体

③コーチの質保証のための評価システムの開発

④新しい時代にふさわしいコーチングの意識啓発

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

A.民間団体(全5団体)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の作成 @18.3百万×1団体	18.3			
委託費	「アスリート・アントラージュ」の連携協力推進@18.2百万×2団体	36.4			
委託費	コーチの質保証のための評価システムの開発@24.4百万×1団体	24.4			
委託費	新しい時代にふさわしいコーチングの意識啓発@19.3百万×1団体	19.3			
計		98.5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。